

租税教育実践レポート

税金の働きについて知ろう



登米市立横山小学校教諭 6学年 佐藤 祐子

実施年月日：令和元年7月17日 13名

1 実践計画・指導のねらい

税金に関して学ぶ単元として、「わたしたちのくらしと日本国憲法」「わたしたちの生活と政治」がある。令和元年10月からの消費税率引上げに合わせ、年間指導計画における指導内容の一部を入れ替えて、1学期に「租税教室」を実施した。税金の種類について事前の意識調査を行ったところ、児童は税金についての知識が極めて少ない状態であった。租税教室の実施後、税金の種類や特徴、使われ方等について授業を行った。また、教科等横断的な学習を実施し、税に関する標語コンクールや税に関する絵はがきコンテストに応募し、税に関する興味・関心を高めようと考え指導実践に当たった。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

| 時間 | 学習内容 | 主な発問 (○)、こどもたちの反応 (●)、使用教材等 (□) |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 税金とは何かを知る 税の学習コーナーを使い、必要な情報を調べる | <ul style="list-style-type: none"> ○ 消費税が上がるけれども、税金は必要だと思いますか。 ● 消費税が上がるのは反対。税金はなくていい。 □使用教材名 副教材「わたしたちのくらしと税金」 国税庁「学習コーナー」 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> 【租税教室】 税金の役割や必要性を知る DVDを視聴し、税金の必要性について考える 感想を発表し合う | <ul style="list-style-type: none"> ○ 税金はどんなことに使われているでしょうか。 ● 自分たちの生活に必要なことに使われているということを初めて知った。消費税が上がるのに反対していたけど、税金はなくてはならないものだとわかった。 □使用教材名 税のビデオ（マリンとヤマト）  |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> 公共施設の建設費用と税金の関係や、税金の働きについて調べ、まとめる | <ul style="list-style-type: none"> ○ 税金はどうやって集められ、どのように使われるのかを調べてまとめましょう。 ● 仕事をしている人だけでなく、自分たちも物を買ったときに消費税として税金を払っていたのだな。 □使用教材名 副教材「わたしたちのくらしと税金」 財務省「キッズコーナー」 |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> 税について感じたことや考えたことを表現する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 税に関する絵はがきコンクールや税の標語等に向けての作品作りを通して、税の大切さについてもう一度考えよう。 ● 税金は自分たちの生活のために必要なものだというのを改めてわかった。 □使用教材名 副教材「わたしたちのくらしと税金」 まんが「おじいさんの赤いつぼ」  |

【指導のポイント】≪1時間目≫

国税庁の税の学習コーナーを活用し、税金とは何か、身近な税金について調べさせる。

【指導のポイント】≪2時間目≫

税金が使われているものとそうでないものに分けることで、自分たちの生活に必要なものに税金が使われていることに気付かせる。

【指導のポイント】≪3時間目≫

学び合いを取り入れ、全体で確認しながら税金の働きについてまとめた。

【指導のポイント】≪4時間目≫

租税教室で使用した資料や感想カードを確認させながら、税金に対する思いを絵や標語に表すことができるようにする。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

- ◎ 消費税率引上げの機会を捉えて、児童の興味を喚起した実践を累積してきた。税金の必要性を考えさせる上で、DVDを視聴したことは効果的であり、児童自身が、「税金は市民の生活のためにはなくてはならないものだ」と、その必要性を実感する学びの場となった。また、納税の重要性に関して多面的に考える機会となった。
- ◎ 税の学習は、国税庁や財務省の著作教材を活用することが有効であると感じた。
- ◆ 第6学年社会科の年間指導計画に加えて、他教科・各学年の指導計画に税に関する指導に位置付けることで、効果の高い指導が可能であると感じた。